

令和2年3月17日

議長 矢島 尚 様

議会広報編集委員会
委員長 牛山 基樹

議会広報編集委員会は、令和2年2月5日に埼玉県大里郡寄居町を訪問し、平成29年度及び平成30年度 全国町村議会議長会広報コンクールにおいて、最優秀賞（第1位）を受賞された、議会だより「お元気ですか 寄居議会です」の、編集理念や編集方法を視察研修しました。また、同2月6日には、東京都あきる野市を訪問し、紙面を大幅にリニューアルされ大変読みやすい、議会だより「ギカイの時間」について、経緯や編集方法などを視察研修しましたので、下記のとおり報告します。

記

訪 問 日 令和2年2月5日（水）
訪 問 先 埼玉県大里郡寄居町
視察テーマ 「議会だよりの編集について」
視察参加者 牛山基樹、五味平一、五味仙一

1. 視察研修の目的

全国町村議会議長会広報コンクールで最優秀賞（第1位）となった寄居町の議会だより「お元気ですか 寄居町議会です」がどのような理念から生まれ、編集者の意思が紙面にどのように反映されていくのかを視察研修し、当町の議会だよりをより多くの町民の皆様に読んでいただけるよう技術と知識を研鑽する。

2. 視察報告

寄居町議会だより「お元気ですか 寄居町議会です」の編集方針は、

- ★基本理念 読まれない議会だよりに出す意味なし。
- ★基本姿勢 日本一クオリティーの高い議会だよりを目指し編集する。
- ★政策サイクル 年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集を心掛ける。
- ★優先順位 審議結果だけではなく、審議経過を伝え、町民の関心が高いと思われる議案等に優先順位をつけ掲載する。
- ★言葉で伝える 常に読み手を第一に考え、記事は完結な表現とし、文体は統一する。読みやすい紙面とするため、行政用語、議会用語は言い換えるか、解説をつける。

議案内容及び審議結果がわかるように工夫し、議案に対する各議員の賛否も明らかにする。

★写真で伝える 見出しは、できるだけ大きく、記事の内容がわかりやすく、簡潔でインパクトのある表現とする。

写真は、1ページ(1記事)に1枚以上掲載するよう努め、キャプションは、記事を補完するだけでなく、伝える内容を端的に表すものを選ぶ。

QRコードの活用による関連ホームページへのリンクや、必要に応じて資料映像を作成するなど、様々なメディアを駆使し、記事を補完する。

表紙は、記事との連動性等も考慮し、内容に則したものとする。

一般質問の議員写真は、できるだけ動きのあるものを使用する。

【当町議会だよりへの批評】

寄居町議会議長をはじめ、広報広聴特別委員会委員の皆様へ、当町議会だよりを見ていただき、次のような意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

◎表紙の写真は大変素晴らしいが、表紙と紙面を連動させる内容にしたらどうか。

◎記事に関連した写真をより多く掲載した方がいい。

◎町民を紙面に登場させる。(町民に取材し、顔写真・コメント・氏名の3点セットを掲載する。)

◎文章ばかりだと読みにくい。文字数を減らした方がいい。

◎町民の関心が高い記事を書けるようにしたらどうか。町民は定例会の細かな内容には高い関心はなく、自分の生活に直接関わってくる記事に興味を持っている。定例会や臨時会の内容ばかり掲載しなくても良いのではないか。

以上のように、編集作業に委員全員が一丸となって取り組む体制を目の当りにし、改めて成果品の素晴らしさを再認識しました。加えて、目に留まるキャッチコピーや大勢の町民の声を紙面に登場させ、名前や写真を添えた生の声として、次々と登場し続ける「声メーカー」という企画は、大変参考となるものでした。読みやすい、分かりやすい議会だよりの編集を目指す我々にとって意義のある、実り多き視察研修となりました。



(文責 五味仙一)

訪 問 日 令和2年2月6日(木)
訪 問 先 東京都あきる野市
視察テーマ 「議会だよりの編集について」
視察参加者 牛山基樹、五味平一、五味仙一

あきる野市議会

議会報広聴委員会7名 説明者(議長・議員2名・事務局1名)

【テーマ】

議会報リニューアル 旧「議会だより」から 新「ギカイの時間」が出来るまで

あきる野市議会広報紙「議会だより」が、市民の皆様に読まれているかを調査、現実にはほとんど読まれていない事が判明。そこでリニューアル調査研究グループを結成し、意見・提案を募るが「大きく変わるのは無理がある」と意見集約された。そこで8市1町の議会広報誌を集め、平成23年10月に本誌を含む10誌を役所コンコースにてアンケート調査を行った結果、地元紙も相まってなんと7位の4%であった。

そこで、平成23年市民アンケートから24年5月まで(議員3・事務局1)により全10回の内容検討を行う。編集委員会へ提案⇒代表者会議へ提案⇒リニューアル決定となる。目的を「議会だよりを大人の人に読んで頂くために」とし、内容検討に入る。

こうしたい!もっとうこうしたい!の議論を重ね

【なにを】

- ・手にとってもらえる表紙づくり
- ・気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫

【いつまでに】

- ・平成25年2月1日 第70号 に決定 検討内容

【興味を引く特集と表紙】

(ターゲットを決める)・・・市民全員が読みたい議会だよりの制作。

- ・ターゲットを絞った**特集**・・・号ごとにターゲットを変え時間をかけて全ターゲットを獲得(ネタの仕入れを2年分集める、現実的には2・3号分になる)対象者は、委員が人選、取材を行う。これは、議会と市民との距離を縮める効果あり。

最も大事なことは(表紙)・・・特集とリンクさせる⇒表紙のタイトル⇒ここでは「ギカイの時間」に決定(文字の視覚効果を検討)

次は読みやすいページを検討・・・導線・余白・統一感・文字色等について・・・餅は餅屋**デザイナーに依頼**、基本が出来れば文を流し込むだけ。**編集が楽になる**。

【裏表紙の検討】

- ・小学生が夢を語るコーナー
- ・スケジュールや啓発的な記事の掲載

【議案審議・一般質問の検討】

- ・行政用語を「市民に通じる言葉」に
- ・知らせたいことと知りたいことの差
- ・読んでほしい量と読める量の差・・・一般質問240字限定
- ・ピックアップ方式・・・概ね1ページ3件、分かりやすい文章、写真付き

あきる野市議会だより70号発行後のアンケート調査

【効果測定の実施】 平成 25 年 4 月 19 日

- ・リニューアル後・・・85% リニューアル前・・・15% 好評であった。
- ・議会だよりを読んでいますか
読んでいる21% 読むこともある36% であった。
- ・どの記事を読みますか
一般質問⇒議案⇒特集⇒予算・決算⇒あなたの未来 の順である。
尚、一般質問には質問者に、QRコードが付いている。
- ・情報量については
ちょうど良い・・・74% (読みやすくするために少なくしている)

【継続性・配布方法】

- ・コンセプトを守る。
- ・担当者の理解。
- ・4年に1回の見直し検討。
- ・配布については、新聞折り込み。・・・全戸配布に向け努力中

【感想】

- ・熱い熱意を持ち、日本一を目指す努力をしている。
- ・特に表紙について特段に気を使っている。
- ・議員が取材し記事にしている・・・(広報活動は⇒全議員の力で)。
- ・余白が適当にあり読みやすい。
- ・一般質問のQRコード個人別に視聴でき、富士見町も取り組みを急ぎたいと思います。

(文責 五味平一)



あきる野市議会の視察